

第2次国分寺市文化振興計画 概要版



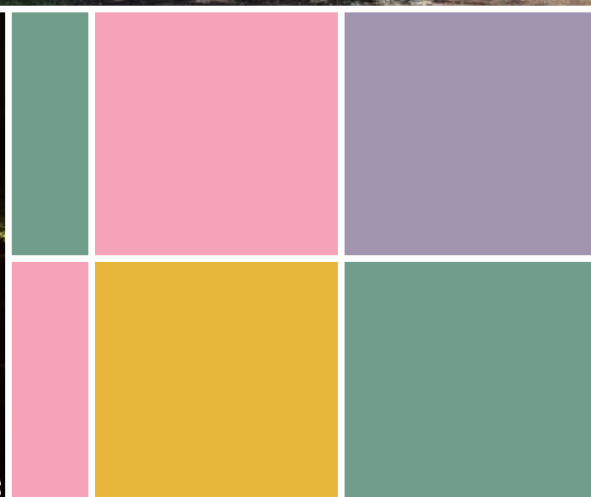
いずみホール(Aホール)



武蔵国分寺僧寺講堂跡



武蔵国分寺新能



第2次国分寺市文化振興計画は、
平成29～36年度の8年間の計画期間として、
国分寺市文化振興条例に基づき、
歴史文化、芸術文化、環境文化、社会文化において
文化振興を進めていくための計画です。



真姿の池湧水群

目標と施策体系

計画の目的 国分寺市の文化振興は、国分寺市文化振興条例の基本理念に則り、市民が文化を享受するとともに、市民が文化を主体的に創造することを支援し、促進することを目指しています。

そのためには市民が主役となり、市民と市が協働して、国分寺の新しい文化を創造するとともに、自然や史跡等の固有の文化を保存・継承することが必要です。第2次国分寺市文化振興計画では、市民と協働し、市民による主体的な文化振興を活性化することを目指します。

長期的目標

国分寺市の文化振興の長期的な目標は、国分寺市文化振興条例で規定される文化振興の推進にあたって目指すべき4つのまちの姿の実現です。

4つのまちの姿

歴史文化 市民が市内の**歴史的文化遺産**を市民共有の財産として身近に感じ、次の世代に引き継ぐまち

芸術文化 市民が身近に**芸術**にふれあえるまち

環境文化 **豊かな緑**や**湧水**に恵まれた憩いのあるまち

社会文化 温かく**ふれあい**にあふれるまち

中期的目標

長期的目標に基づき、国分寺市の現状、また社会的な動向、文化振興のあり方を背景として、8年間の計画期間において実現しようとする4つの中期的目標を次のように掲げます。

A 文化について学び、鑑賞し、体験する機会を提供することで、市民の文化への関心を喚起し、文化に身近に触れ、親しむことができるようになります。

文化に触れる

C 国分寺固有の自然・歴史資源を保存し、将来へと継承するとともに、世代間のつながりをつくり、文化やコミュニティを次世代へと引き継いでいきます。

文化をつなぐ

B 市民による多様な活動を支え、協働することで、文化振興の担い手を育成します。そして、市民の活動が国分寺ならではの文化へと展開することを目指します。

文化をはぐくむ

D 国分寺の文化の魅力を伝えるとともに、活動する市民、団体、組織からなるネットワークをつくり、主体的かつ創造的な市民と市の協働を実現することを目指します。

文化を広める

- 背景**
- 新たな価値を見出しながら、歴史と環境を未来へと継承していくことが必要です。
 - 市民が文化に触れ、また市民によって文化が創造されるための支援が必要です。
 - 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を、将来にわたって持続する市民活動の創出の機会とすることが必要です。
 - 主体的・創造的な市民とのネットワークを築き、市民が主体的に活動できる環境を構築することが必要です。

A 文化に触れる

文化を学び、鑑賞し、体験する機会を提供します

市民が身近に歴史や芸術、環境に触れ、そして人と人とのつながりを感じられるような機会を提供することが、中期的目標A「文化に触れる」の目標です。

国分寺市の施設や大学との連携における学習や鑑賞、体験等を通じて歴史や芸術、環境に触れるための機会を十分に提供することを目指します。人と人とのつながりについては、それら活動のなかで感じられるよう機会提供のあり方を検討します。

文化に関心のある市民はもとより、そうでない市民、さらには年齢や心身の状況等の問題から文化に触れることが難しい人たちに対しても、機会提供を図っていくことで、文化へのアクセスの平等性を担保し、あらゆる人が文化に親しむための検討もしていきます。

施策の柱

a 鑑賞機会の提供

武蔵国分寺跡資料館や民俗資料室、いずみホール、お鷹の道など、既存の公立施設や資源を活用し、市民が文化を鑑賞する機会を広く提供します。

歴史に関しては、既存の文化財展示施設の内容の充実や(仮称)郷土博物館の検討を進めていく予定です。また、芸術についてはいずみホールでの公演を充実させることを目指します。

- 事業
- 既存文化財展示施設の充実
 - (仮称)郷土博物館構想調査事業
 - ホール施設における鑑賞機会の提供
 - 武蔵国分寺薪能の開催

b 学習機会の提供

公民館はもとより、東京経済大学と連携した市民大学講座など、様々な機会を通じて、文化について学ぶことのできる機会を提供します。

内容については歴史、芸術、環境のみならず、社会文化に関わる国際交流や異文化理解等、市民のニーズを踏まえつつ、文化への理解を高める幅広い分野を想定します。

- 事業
- 伝統文化こども教室
 - 文化講座の開催
 - 環境教育の推進
 - 公民館における文化に関する事業の推進
 - 外国人による外国の紹介
 - 市民大学特別科目聴講生制度の充実
 - 市民大学講座等の共催

c 体験機会の提供

文化を学び、鑑賞するという受動的な関わり方から一歩進み、文化を実際に体験する機会も提供します。

音楽の演奏や絵画の制作、伝統芸能などを体験する機会はもとより、史跡を現地で体験する場づくりも進めます。

また、市民同士、また市外との交流を深める施策も体験と捉えて推進していきます。

- 事業
- 文化財を活かしたまちづくり
 - 文化財めぐり等
 - 史跡公園整備事業
 - 史跡武蔵国分寺跡公園用地の買収
 - 各種音楽教室・講習会等の開催
 - 和楽器教室の充実
 - ホール施設における体験機会の提供
 - 姉妹都市交流
 - 青少年の社会参加の拡充



いずみホール主催事業
(ダンス・ワークショップ成果発表会)

B 文化をはぐくむ

文化振興の担い手を育成し、国分寺ならではの文化を創出します

市民が文化振興の担い手となり、市民の主体的かつ創造的な活動を通じて、市民と市が協働し、芸術、歴史や環境への意識、さらには人と人とのつながりのあり方も含めて、4つの側面すべてにおける国分寺ならではの文化を創造することが、中期的目標B「文化をはぐくむ」の目標です。

そのため、いずみホールや公民館等をより充実させながら、(仮称)新Lホールの活用や文化の拠点となる施設を模索することで市民の活動の場を提供します。さらに、スキルや知識に関わらず文化振興に関心を持つ市民を担い手へと育成する取組や、市民が主体になった多様な活動の支援・活性化を図っていきます。文化振興条例でうたわれるように、市民一人ひとりの自主性と創造性が発揮され、市主導ではなく、市民が主体となって市と協働しようという意識や機運を醸成し、国分寺ならではの文化が生み出される素地をつくることを目指します。

施策の柱

a 文化の担い手の育成

文化振興に関心を持つ市民が、知識やスキルを身につけ、経験を積み重ねることで、国分寺市の文化振興の担い手として活動するための支援を行います。

歴史に関しては各文化財施設、芸術に関してはいずみホールが拠点となりますが、公民館も文化全般にわたる人材育成の場と捉えています。

- 事業
- ふるさと文化財愛護ボランティア推進事業
 - アートマネジメントに関する講座の開催
 - みどりのボランティア推進事業
 - 協働による公園の美化
 - クラブ活動・文化祭等の充実

b 場・機会の充実

現在行われている市民による文化活動をさらに活性化するため、新たな施設の役割や拠点となる施設について検討を進めるほか、予約システムの導入や適切な改修を通じて既存の公共施設の使いやすさを向上させることを目指します。

- 事業
- 育成した人材の活躍の場の提供
 - いずみホールの改修による安全性等の確保
 - 文化の拠点施設の確立
 - 図書館開館時間の拡大
 - 図書資料の充実
 - 図書館システムのIT化推進事業
 - 大学図書館の利用
 - 地域センターの充実
 - 国分寺駅北口交通広場の整備
 - 移動児童館事業
 - 国分寺市プレイステーションの運営
 - 学校の設備・備品の整備
 - 文化・学習・スポーツ施設の予約システムの確立

c 文化の創出

市内での多様な地域のおまつりや文化に関するイベントを広めることで、市民が共有し、楽しめる国分寺の文化へと高めていきます。

同時に、環境や人と人とのつながりに対する市民の意識も醸成し、歴史・芸術・環境・社会のすべてにおいて国分寺ならではの文化を創出することを目指します。

- 事業
- 祭り・年中行事の継承
 - いずみ春の祭典
 - 文化活動への支援
 - 市民文化祭の開催
 - 文化団体連絡協議会への支援
 - 学習・文化活動の援助
 - 学習・文化活動の支援
 - ぶんぶんウォークの開催
 - 都市景観形成事業
 - 水と緑のイメージに配慮したデザイン・建築・開発
 - 地域センターまつりの開催
 - 国分寺まつりへの支援
 - 公民館まつりの開催
 - 市民活動の推進

C 文化をつなぐ

国分寺固有の文化やコミュニティを次世代に継承します

歴史と自然に関わる文化や地域コミュニティを次世代へと継承していくことが、中期的目標C「文化をつなぐ」の目標です。

歴史資源や自然は国分寺固有の文化であり、保存し、継承することが求められることから、適切な調査を行い、文化財の指定や登録を行うことで保護していく必要があります。それとともに指定・登録されにくい歴史資源についても市民の利用できるようなかたちで活用することで次世代に継承することを検討することも大切です。

また、市民の交流を促進し、市民活動やコミュニティを継承していくことも目指します。古くからある文化や地域コミュニティを大切にす若い世代を増やすとともに、若い市民の活動に対する理解や異文化交流等、世代や国を超えた交流を広げることを目指します。

施策の柱

a 文化の保存・継承

国分寺固有の歴史資源を保存・継承していくため、遺跡の発掘調査や文化財の調査・指定・登録を行っていきます。

また、国分寺市の豊かな緑や水環境を保全するため、地下水の涵養につながる雨水浸透ますの設置を、公共施設のみならず、一般住宅に対して促します。

- 事業
- 遺跡の発掘調査
 - 文化財登録制度の導入
 - 有形文化財等の収集・整理
 - 市内文化財総合調査事業
 - 浸透ます設置



都立殿ヶ谷戸庭園(随宜園)

b 交流の促進

自治会・町内会を基盤とした地域における近所づきあいから、公民館を活動の場とした地域交流・異世代交流、さらには国際交流など、様々な交流を活性化し、人と人とのつながりを生み出します。

それを通じて、特に社会文化の形成・発展を目指し、文化やコミュニティが自然と継承される環境をつくることを目指します。

- 事業
- 異世代交流事業の推進
 - 老人会と児童(むかし遊び)の交流
 - 近所づきあい・助け合いの推進
 - 国際協会の支援

国分寺市の歴史と自然

国分寺市内には、旧石器時代から近世に至る様々な時代の遺跡が残っています。国指定史跡である武蔵国分寺跡は代表的なもので、市では歴史公園として整備を推進しており、まちの駅のひとつとして「史跡の駅おたカフェ」も設置しています。

自然については、緑地や湧水源を含む国分寺崖線のほか、お鷹の道や真姿の池湧水群等があり、豊かな緑と自然に恵まれています。

歴史・自然は市民にも知られており、計画策定に際して実施した市民を対象とした文化振興に関する市民意識・実態調査では、「国史跡 武蔵国分寺跡 附 東山道武蔵路跡」「殿ヶ谷戸庭園(随宜園)」「真姿の池湧水群」の認知度は7割を上回っていました。



史跡の駅おたカフェ

D 文化を広める

国分寺の文化の魅力を広く伝えるとともに、市民の参画を促し、協働による文化振興の推進体制を構築します

多くの市民が文化に親しみ、国分寺の文化の魅力を実感するとともに、文化振興に関心のある市民が主体的に活動できるよう、情報発信を行うとともに文化振興の推進体制を強化することが中期的目標D「文化を広める」の目標です。

情報発信にあたっては、市民に情報が伝わることを意識し、これまで文化に関心を持ってこなかった市民が「鑑賞しよう」「活動しよう」と思うような情報提供を心がけます。

また、8年間の計画期間中に開催される東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした文化プログラムを通じて、将来的にも継続される市民文化活動やその担い手となる若者等を国分寺ならではのレガシーとして残すことが求められます。そのためにも、文化活動に関心を持つ市民とのネットワークを築きながら、主体的な市民と市が創造的な協働を行うことで、段階的に市民が主体となる推進体制として確立していくことを目指します。

施策の柱

a 文化の発信

鑑賞や学習、体験の機会、人材育成の場に関する情報、さらには市民による文化活動や団体に関する情報等を広く市民に発信することで、文化への関心を高め、活動への参加を促します。また、史跡や自然、芸術など、国分寺の文化的魅力を発信し、文化振興への関心を高めることを目指します。

- 事業
- シンボルマークの活用
 - 遺跡地図の刊行
 - 普及書刊行事業
 - 国際化施策推進事業
 - 市民グループ等の個別活動の情報発信
 - 市内の文化イベント及び市内で活動する団体の文化活動の情報発信
 - インターネット等による文化情報の提供
 - 文化功労者の表彰
 - 文化施設及び文化に関する情報の多言語対応

b ネットワークの形成

文化に関心を持ち、主体性と創造性を発揮しようとする市民が文化振興に参画できるよう、既存の団体や新たな市民活動とのネットワークを築くとともに、市内及び近郊の大学とも連携しながら、人材を発掘し、市民と市の協働のあり方を検討することで、文化振興の推進体制の構築を進めます。

- 事業
- 大学生の協力を得る仕組みづくり
 - 人材の発掘
 - 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした文化振興の活性化
 - 市民協働に向けた仕組みの検討
 - 学生教育ボランティア事業
 - 推進体制の確立
 - 教育機関や地元産業等との連携の拡充

「市民協働に向けた仕組みの検討」とは

文化振興を推進し、長期的目標を実現していくにあたっては、市民と市が協働し、市民の主体性と創造性が発揮されることが必要です。

そこで、事業「市民協働に向けた仕組みの検討」では、事業「人材の発掘」を通じて、文化振興に関心がある市民や専門的知識を持つ市民、市内に住む芸術家等とのネットワークを構築しながら、市民が文化振興について検討・協議する場に参加しやすくするとともに、市民による主体的な活動を活性化するため市民協働の仕組みについて検討を進めます。

そうして実現される市民協働の下で、国分寺ならではの文化が生み出され、その文化を市民が享受することで市民文化として定着していくことが期待されます。

計画の推進

推進体制

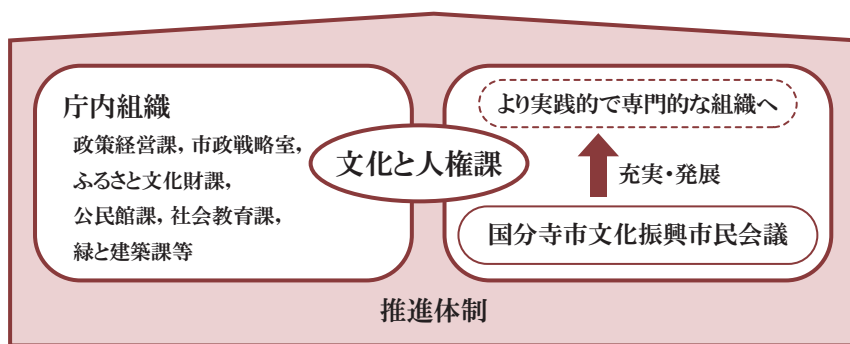
計画推進にあたっては、進行管理・評価を行う庁内組織とともに、意欲と知識・スキルのある市民が文化振興の担い手として主体的に活動できるよう市民と所管課で構成される市民参画組織を整えていきます。

■ 庁内の体制

- 本計画の主管課である文化と人権課を事務局として、政策経営課及び事業担当課の課長等から構成される委員会を庁内組織として設け、計画の進行管理と評価を行います。

■ 庁外の体制

- 国分寺市文化振興市民会議を継続的に開催し、市民の立場から文化振興を推進する組織として位置付けます。
- 文化振興を主体的に担う人材の発掘と、そのような人材を中心とした市民との協働による体制構築を図ります。



評価の考え方

毎年度事業の進捗状況の確認を行っていき、計画期間の4年目には、4つの長期目標に照らして事業を評価し、計画の中間見直しを行います。

■ 進捗管理

- 毎年度、事業担当課から前年度の事業の実施状況について報告を受け、庁内組織において進捗管理を行います。特に「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした文化振興の活性化」「人材の発掘」「市民協働に向けた仕組みの検討」については、計画期間の前半4年間において着実に進めるための進捗管理が重要です。
- 「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした文化振興の活性化」は、開催に向けた機運を高めるとともに、大会終了後も継続して取り組まれる活動を生み出すことを視野に入れることも必要です。
- 「人材の発掘」及び「市民協働に向けた仕組みの検討」は、市民文化振興会議をより実践的な文化の担い手として発展させるための取組であることから、計画期間の前半において重点的に取り組むことが求められます。

■ 評価

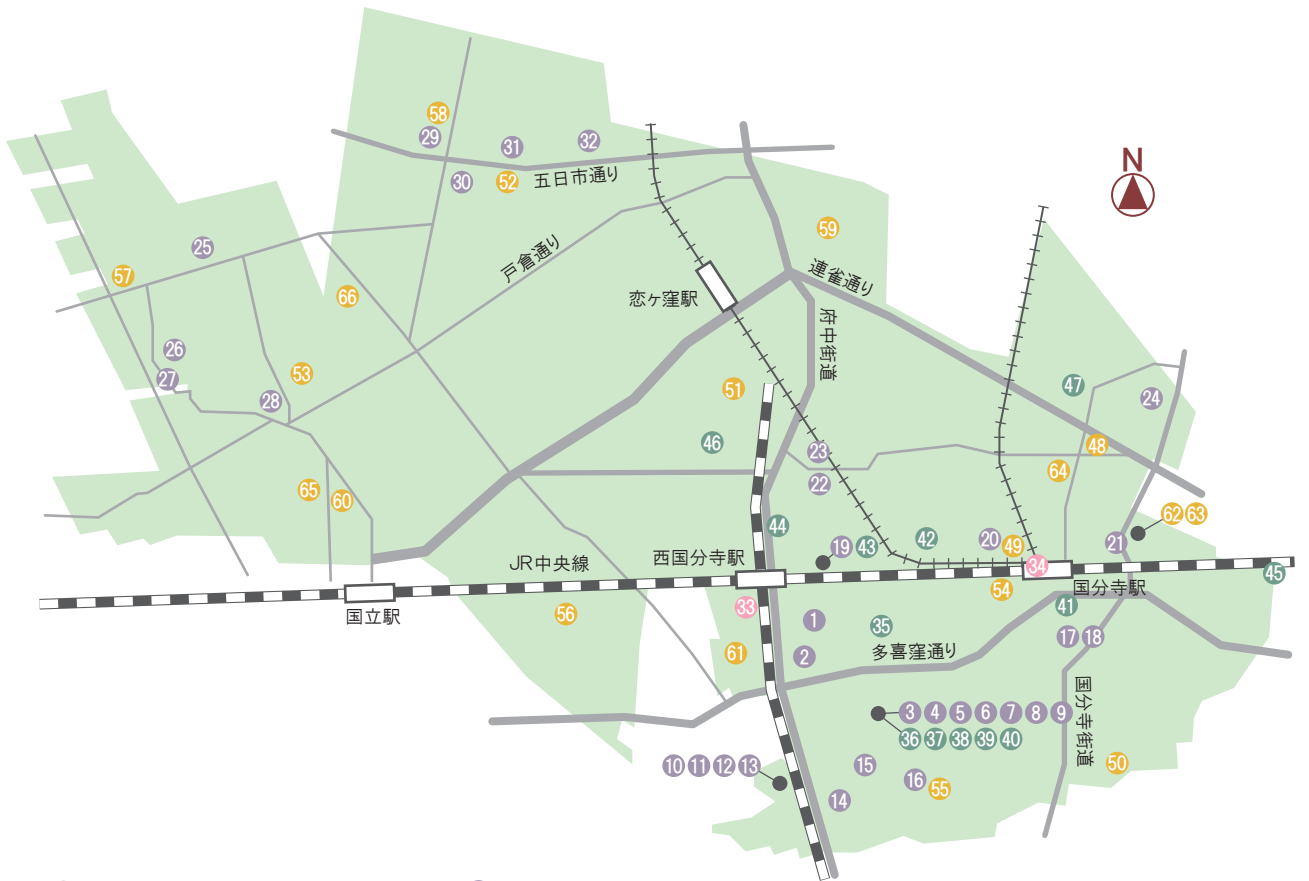
- 各事業については、個々の事業の実施状況だけでなく、国分寺市の文化振興における長期的目標に照らし、事業を実施することで、それぞれに関連付けられた長期的目標の実現にどれだけ近づいたかも指標とし、各事業担当課が評価を行います。
- 同時に、アンケート調査を実施し、市民が4つのまちの姿をどの程度実感しているのかを把握し、平成28年度に実施した調査結果と経年比較することで、長期的目標がどの程度実現されてきたかを測ります。
- 事業担当課の評価と市民の実感とを照らし、長期的目標の実現度合いという観点から定性的評価を行います。

定性的評価とは

定性的評価とは、数量では把握しにくい物事の質的な側面から評価を行う手法です。

文化のように数量では成果を測りにくい分野において適切と考えられています。

国分寺文化マップ



歴史文化

- ① 東山道武蔵路跡
- ② 市立歴史公園史跡東山道武蔵路
- ③ 市立歴史公園史跡武蔵国分寺跡
(僧寺北東地域)
- ④ 国分寺
- ⑤ 国分寺楼門・仁王門
- ⑥ 国分寺薬師堂・木造薬師如来坐像
- ⑦ 武蔵国分寺跡資料館
- ⑧ 土師竪穴住居跡
- ⑨ 史跡の駅 おたカフェ
- ⑩ 塚跡
- ⑪ 伝祥応寺跡
- ⑫ 伝鎌倉街道
- ⑬ 市立歴史公園武蔵国分尼寺跡
- ⑭ 文化財資料展示室
- ⑮ 武蔵国分寺跡僧寺金堂跡
- ⑯ 七重塔跡
- ⑰ 石橋供養塔
- ⑱ 不動橋
- ⑲ 東山道武蔵路跡恋ヶ窪地区
- ⑳ 恋ヶ窪東遺跡柄鏡形敷石住居跡
- ㉑ 本町遺跡
- ㉒ 熊野神社
- ㉓ 恋ヶ窪用水跡
- ㉔ 民俗資料室
- ㉕ 子育て地蔵

- ㉖ 神明社(西町)
- ㉗ 川崎平右衛門及び
観音寺中興開山供養塔
- ㉘ 稲荷神社
- ㉙ 川崎・伊奈両代官謝恩塔
- ㉚ 毘沙門堂
- ㉛ 愛宕神社
- ㉜ 神明社(北町)

芸術文化

- ㉝ いずみホール
- ㉞ Lホール

環境文化

- ㉟ 都立武蔵国分寺公園
- ㊱ お鷹の道
- ㊲ 真姿の池湧水群
- ㊳ おたかの道湧水園
- ㊴ 万葉植物園
- ㊵ 国分寺のコウヤマキ(市重要天然記念物)
- ㊶ 都立殿ヶ谷戸庭園(随宜園)
- ㊷ 日立中央研究所庭園
- ㊸ 姿見の池
- ㊹ 一葉松
- ㊺ 新次郎池
- ㊻ エックス山
- ㊼ 祥応寺のコノテガシワ(市重要天然記念物)

社会文化

- ㊽ 本多公民館・図書館
- ㊾ 本多図書館駅前分館
- ㊿ もとまち公民館・図書館
- ㊽㉑ 恋ヶ窪公民館・図書館
- ㊽㉒ 並木公民館・図書館
- ㊽㉓ 光公民館・図書館
- ㊽㉔ 本町・南町地域センター
- ㊽㉕ もとまち地域センター
- ㊽㉖ 内藤地域センター
- ㊽㉗ 西町地域センター
- ㊽㉘ 北町地域センター
- ㊽㉙ 北の原地域センター
- ㊽㉚ ひかりプラザ・新幹線資料館
- ㊽㉛ 多喜窪公会堂
- ㊽㉜ 日本の宇宙開発発祥の地記念碑
- ㊽㉝ 王貞治氏第1号国民栄誉賞記念碑
- ㊽㉞ 電車開通記念碑
- ㊽㉟ 鉄道総合技術研究所
- ㊽㊱ 東京の中心(重心)